

かさおか

社協だより

2025
9月
No.151



ホームページ <http://kasaoka.or.jp/> (Facebook・Instagram 更新中! 登録をお願いします)



**第5次「笠岡市地域福祉活動計画」
ができました!**
住み慣れたまち「かさおか」で安心して生活
していくために、住民や地域の関係者が協
力し、地域の福祉課題の解決を図っていく
ための、みんなの計画です。



Contents

— 目次 —

P2～3 地域福祉活動計画 特集

P4～5 地域包括支援センター

P6 予算・決算・寄附・ボランティア

P7 募集・ご案内

P8 支部紹介

編集・発行

社会福祉法人 笠岡市社会福祉協議会

〒714-0098 岡山県笠岡市十一番町15

☎62-3507 FAX62-3590

Q 「地域福祉活動計画」って？

地域福祉活動計画は住民、福祉関係団体、NPO、ボランティア、福祉サービス事業者等が協力し、共に笠岡市にある地域福祉の課題解決を目指して策定する『民間の福祉計画』です。「みんなでささえて誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を基本理念としながら、住民や地域の関係者が組織の枠を超えて連携し、各々の強みを生かしながらいきいきと暮らせる地域づくりをともに考え、実践していく計画になっています。

第5次地域福祉活動計画の期間は、令和7年度から令和11年度までの5年間です。

基本理念

みんなでささえて誰もが



基本目標① つながり 人づくり

人と人とのつながりを作り、誰もが参加できる機会を増やしていきます



基本方針

- ☑近隣で世代を超えた日常的なつながりを作ります
- ☑支援を必要としている人と地域のつながりを作ります
- ☑施設と住民が一体となって活動します
- ☑地域活動への参加を呼び掛け、次世代の担い手づくりを行います

みんなでできること

- ・年代を問わず参加できる交流の場を作りましょう
- ・高齢者や障がい者と顔の見える関係を作りましょう
- ・地域の話し合いに施設を入れてお互いのつながりを作りましょう
- ・担い手に役割を引き継ぐ仕組みを作りましょう



基本目標② 福祉教育・理解 心を育む

お互いを思いやり助け合っていく心を育てます



基本方針

- ☑幼少期から、思いやりの心を育みます
- ☑誰もが気軽に声を掛けやすい関係を作ります **重点**

みんなでできること

- ・幼少期から日頃の挨拶や交流を通し、思いやりの心を育みましょう
- ・高齢者や障がい者の理解を深める機会を作りましょう

Q 「社会福祉協議会」って？

地域福祉の推進を図ることを目的として、全国各県・市町村単位に設置された、公共性・公益性の高い「民間の福祉団体」です。子どもから高齢者まで障がいのあるなしに関わらず誰もが安心して暮らすために、住民や地域の関係者、行政などと協力して様々な活動に取り組んでいます。

■座談会（日常生活圏域単位で開催）

地域福祉の担い手の方々を中心に地域にある福祉課題についてご意見をいただきました。また、地域評価表で第4次計画の取り組み状況の評価をしていただきました。



を策定しました



●行政計画（地域福祉計画）との連携●

地域福祉計画は『地域住民の立場から地域福祉の理念や方向性を示す計画』として行政が策定しています。「笠岡市地域福祉活動計画」はこの理念や方向性に基づき、**住民が主体となった地域福祉の取り組み（活動）について具体的に示す計画**として一体的に実施するものと位置づけられています。

安心して暮らせる福祉のまちづくり

重点

第4次地域福祉活動計画の検証を行い、取り組みが不十分であった項目を重点取り組みに設定しています。



基本目標③ 広報啓発 仕組みづくり

必要な人にわかりやすく情報を伝えます

基本方針

- ☑相談の窓口・制度・サービスを周知します **重点**
- ☑わかりやすい広報を考えます **重点**

みんなのできること

- ・困ったときに相談できる窓口を周知しましょう
- ・複数のメディアを活用し、幅広い世代を意識した発信をしましょう



基本目標④ 助け合い・ささえあい 活動に取り組む

地域で見守り・助け合いをすすめます

基本方針

- ☑地域での情報を共有し、生活の困りごとを把握します
- ☑地域で出来る活動を推進します **重点**
- ☑災害に備えた活動をします **重点**
- ☑運営基盤を整えます **重点**

みんなのできること

- ・適切に個人情報情報を管理し、必要な情報共有を行います。
- ・活動する住民や団体同士での顔の見える関係づくりを作りましょう
- ・住民が参加する防災訓練を行いましょう
- ・助成金・補助金を活用しましょう

詳しくは
ホームページで
見ることが
できます



策定委員会

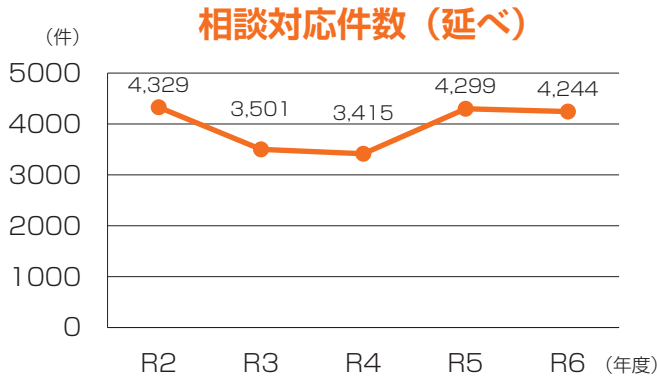
岡山県社会福祉協議会 橘主任にアドバイスを頂き、地域福祉活動計画策定の主旨や、策定の目的について共有しました。また、地域座談会や地域評価表から得た地域課題について協議し、計画をつくりました。



地域包括支援センター

地域包括支援センターは、高齢者の介護・認知症・健康・高齢者の権利に関する相談など様々な生活上の課題について相談を受けています。

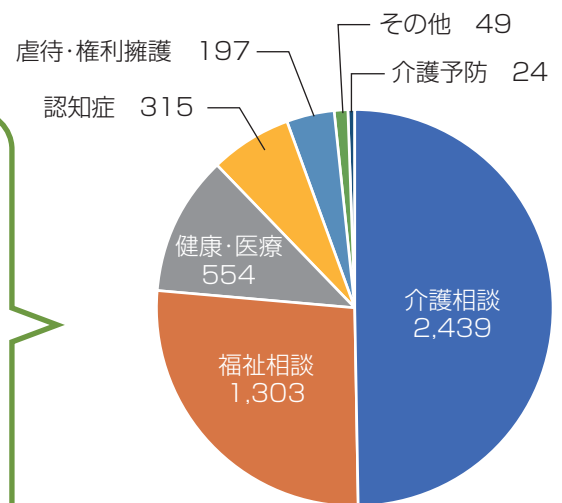
相談実績について報告します。



過去5年間分の相談者対応件数の推移は左記の表のとおりとなります。令和6年度は延べ4,244人の相談があり、対応しました。来所444人、訪問1,031人、電話2,363人、その他（メール等）406人となっています。



右記円グラフは、令和6年度の相談内容について記したものです。介護相談が一番多く、続いて、福祉相談（介護以外の生活上の相談）・健康医療と続いています。相談の大半を占める介護相談を例にあげると、相談を受け、介護保険の申請、もしくは介護保険外のサービスなどの検討を行い、サービス利用につながっています。自分でどうしてよいか分からない方も多いと思いますので、お気軽にご相談ください。

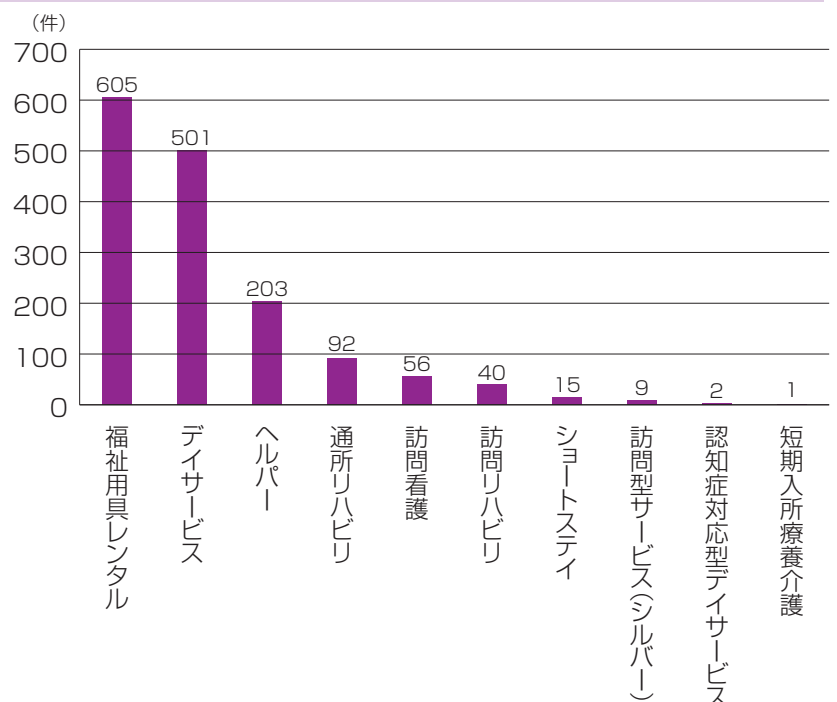


令和6年度相談内容別件数

ケアマネに聞きました！

要支援・事業対象者のサービス利用状況

令和7年5月に地域包括支援センターが担当した要支援1.2と事業対象者の974人が利用したサービスを集計した表です。（複数のサービスを利用している人もいるため、担当者数とサービス合計数は一致しません）ダントツ1位は『福祉用具のレンタル』でした。約62%の人が利用しています。次いで『デイサービス』で、約51%の人が利用しています。ケアマネジャーはその人の状況に合うプランを作成します。



介護予防 「元気に過ごしたい」を叶えるひけつを考えよう！

身体とともに頭の健康も

関心が高まっている

年齢とともに起こる身体の弱りを予防するために、ウォーキング、筋トレ、体操などに取り組んでいる人も多く見かけますが、頭の健康、つまり認知症の予防にも関心が高まっています。身体の弱り（フレイル）の予防の3本柱は「運動」「栄養」「社会参加」ですが、認知症の予防も、この柱がとても重要だと言われています。いずれも、「弱ってきたな」「困ったな」と思う頃に始めるよりも、何もない頃から始める方が効果もあります。

脳トレで有名な千葉大学名誉教授だった多湖先生による認知症予防のひけつ

「きょういく」と「きょうよう」

- ・きょういく ⇒ 「今日行くところがある」
- ・きょうよう ⇒ 「今日用事がある」



おすすめ！いきいき百歳体操



運動、社会参加
ダブルの効果

市内の公民館などで行われているこの体操は、100歳近いご年配向けだけの体操ではなく、幅広いシニア世代のフレイル、認知症予防向けの体操です。

重りの重さが変えられて、見た目以上に筋肉を使うことができます。

人と会って
話をする
(刺激)

出かける・
準備・生活
リズム

これまた
脳トレに
なります

“これといった趣味が見つからない、友人を作りたい、地域に貢献したい”、そんな方々に是非 おすすめです！



お問い合わせ 地域包括支援センター ☎0865-62-6662

由美子おばあちゃんが行く《第3回》

認知症に関する取組みの“マーク”を知っていますか？

笠岡市では、認知症に関する取組みに協力していただいている事業所・お店等に、3種類のステッカーを渡し、掲示していただいています。



スーパーや金融機関
などに貼ってあるよ！



①



②



③

①「認知症について学んだ職員がいる」、②「行方不明情報を共有し、気にかけてくれる」、③「認知症になっても安心して買い物できるお店作りをしている」という証しです。認知症になっても安心して事業所・お店を利用できることが目的です、探してみてください。

笠岡市社会福祉協議会 令和6年度決算報告及び令和7年度予算

【収入】

科 目	R6年度決算額	R7年度予算額
会費収入	7,328,000	7,700,000
寄附金収入	922,770	1,150,000
経常経費補助金収入	20,937,787	16,510,000
受託金収入	196,093,830	220,776,000
貸付事業収入	15,000	100,000
事業収入	11,100,929	10,409,000
負担金収入	659,725	654,000
介護保険事業収入	83,354,742	84,372,000
障害福祉サービス等事業収入	2,925,680	2,532,000
受取利息配当金収入	5,481	9,000
その他の収入	1,011,008	519,000
基金積立資産取崩収入	71,306	1,130,000
拠点区分間繰入金収入	10,801,537	16,396,000
サービス区分間繰入金収入	25,500,089	38,635,000
前期末支払資金残高	68,738,588	64,084,000
収入合計	429,466,472	464,976,000

【支出】（事業別）

（単位：円）

科 目	R6年度決算額	R7年度予算額
法人運営	9,509,796	15,068,000
地域福祉	25,988,226	26,457,000
権利擁護	15,596,300	14,366,000
貸付事業	7,343,190	8,634,000
地域包括支援センター	162,740,462	194,694,000
居宅介護支援	16,057,730	13,591,000
訪問介護	21,356,924	23,945,000
その他福祉	43,326,538	48,552,000
共同募金	8,774,633	10,130,000
老人福祉センター	12,262,796	11,628,000
保健センター	19,926,952	20,859,000
サンライフ笠岡	15,721,900	16,960,000
当期末支払資金残高	70,861,025	60,092,000
支出合計	429,466,472	464,976,000

※詳細はホームページをご覧ください。

社会福祉協議会へのご寄附 ありがとうございました

令和7年5月1日～令和7年7月31日

※掲載について御了承いただいた方のみ、お名前を記載させていただきます。

満 中 陰 志

亡父 高木 祥輝（山口） 亡父 東山 大介（拓海町）
 市内 Tさん 亡父 村上 朗寛（中央町）
 亡夫 小林 久子（馬飼） 亡母 前川 恭二（横島）
 亡夫 藤本 （新横島）

学 生 支 援

（株）マシラガス 笠岡通運（株）
 （株）太陽

（敬称略）

ボランティアにチャレンジ

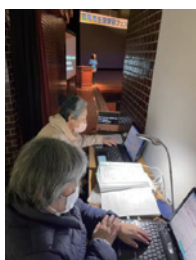
夏休み期間に227名の学生さんが、市内の様々な施設におうかがいしました。新たな発見もあり、勉強になったようです。受け入れ先の施設、利用者の皆様、ありがとうございました。



ボランティアしてみませんか

笠岡要約筆記サークル

笠岡要約筆記サークルは、難聴や中途失聴などで「聞く」ことが困難な方たちのために、文字で情報を伝える活動をしているサークルです。主な活動は、市民会館などで開催する生涯学習フェスティバルや人権講演会などで、パソコンを使った要約筆記を行っています。



笠岡市生涯学習フェスティバルでの活動の様子

笠岡点字サークル



6月20日に視覚障がいの方と和菓子体験交流会を行いました。

福山の虎屋さんをお招きし、季節の生菓子「あじさい」と「鮎」作りに挑戦しました。餡の包み方を実演していただきましたが、手にくっつく・きれいな丸にならないなど苦戦しながらも完成！目が見えない方が、とても上手に丸めて作られてる姿に周りからは驚きの声が上がっていました。お菓子とお抹茶を頂きながら楽しい体験交流会を過ごしました。



募集・ご案内

サンライフ笠岡特別講座 受講生募集

●アロマクリームを作って ハンドマッサージをしよう

日 時：9月20日（土）
10時～11時30分

定 員：20人

参加費：1,800円

申込期限：9月17日（水）

申込み・問合せ：☎63-1533

●ネイティブフラワーを 使ったスワッグ作り講座

日 時：9月27日（土）
10時～12時

定 員：12人

参加費：3,000円

持参品：花はさみ

申込期限：9月20日（土）

申込み・問合せ：☎63-1533

●スマホ初級講座 ～AIを使ってみよう！～

日 時：9月25日（木）
10月9日（木）
両日10時～12時

定 員：20人

参加費：無料

申込期限：9月22日（月）

申込み・問合せ：☎63-1533

●お片付け講座 ～まず片付けられない 理由を片付けましょう～

日 時：10月2日（木）
13時30分～15時

定 員：15人

参加費：無料

申込期限：9月30日（火）

申込み・問合せ：☎63-1533

●椅子に座ってできる！ 腰痛肩こり体操

日 時：10月4日（土） 10時～11時30分

定 員：20人

参加費：1,000円

申込期限：10月1日（水） 申込み・問合せ：☎63-1533

チアサポーター養成講座受講生募集

高齢者の生活を支えるボランティアさんを養成します。

日時：●ちよいてご編（家の中でのちょっとした
困りごとをお手伝いする活動）

11月11日（火）13時～16時30分

●つきそい編（自家用車で付き添う活動）

11月18日（火）9時～16時

場所：サンライフ笠岡など

申込・問合せ：☎62-3507



赤い羽根共同募金は 笠岡市の福祉のために役立てられています

赤い羽根共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する「じぶんの町を良くするしくみ」に取り組んでいます。頂いた募金は子どもたち、高齢者、障がい者の方などを支援するさまざまな福祉活動や、災害時支援に役立てられています。

笠岡市では社協支部活動、市内福祉団体への助成、困りごと相談事業やぼっけえ防災などに使われています。

ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



『ぼっけえ防災2025』

番外編

7/12（土）に開催した防災イベントに向けて「防災を通じてつながろう」と題して市民の方からのメッセージを募集しました。多くの「ヒラメキ」や「備え」が集まりましたのでほんの一部ですが紹介します。ご協力いただいたみなさまありがとうございました！

「ヒラメキ」こんなものがほしい こんなことがあったらいいな

笠岡小学校

小さな持ち運べるテレビ（ラジオ）

足が悪い人専用の防災車いす！押す必要もない。がれきの上、ぬまち、水の上も走れる!!

ベットととまれる防災テント

ふくとズボンが一緒になったビニールのカップ

ぐっJOB

推しの防災グッズ

笠岡東中学校

ヘルメットが学校にあるといい。もしもの時、上から物がふってくるような場面で各自の頭を守るために「ヘルメット」

めちゃくちゃ高くてがんじょうな堤防

笠岡商業高校

栄養があるインスタントスープ

ベットをкаっているひとは避難時にどうしたらいいかまとめたものがあっていいなと思います

わがやの備え 「備え」ひと工夫 こだわり

避難場所をきめている

火災保険を更新する

家の何か所にも懐中電灯を置いています

近くに川があるので5月位に水路の清掃を行っています。数年前に川が増水、ゴミの落ち葉がつかまって困った経験から

バーベキューをする時ご飯も一緒に炊きます。災害時の訓練になるかも？

旅行用のスーツケースの中に水・トイレットペーパー・菓子などを入れ玄関に近い場所においています

社協支部活動紹介

市内に20の社協支部があり、友愛訪問・サロン活動・世代間交流などさまざまな地域福祉活動を行っています。

社協新山支部

社協新山支部は新賀・山口の2つの地区から構成され、井笠鉄道記念館や土倉屋敷、木山捷平生家など貴重な歴史と文化が多く残っている地域です。
今回は、『サロン活動』と『いのちのバトン』の2つの活動をご紹介します。



いい音色♪



新山小学校の子どもたちが作ってくれた干し柿と一緒に、友愛訪問でお届けしました。

支部長 木山博文さん



笑顔がはじける、明るい居場所 サロン活動（ミニデイ・談笑の会）

新山地区では月1回、ミニデイ・談笑の会を開催しています。この日、上長迫公会堂で開催されたサロンでは、山部氏の尺八による伴奏のもと、参加者の皆さんが懐かしの歌と一緒に楽しみました。「演奏中の首を振る動きは何？」と興味深そうに尋ねる方がいたり、「懐かしい曲が聴けて嬉しい」「心がほっとする音色だった」と、笑顔があふれるひとときとなりました。

いのちのバトン

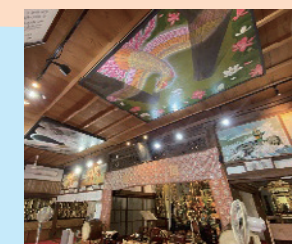
笠岡市の『いのちのバトン』は、2009年から、新山支部で取り組みが始まりました。

福祉委員がリスト更新の確認と新規の登録者の声かけを行っています。令和6年度時点で129名の登録者がいます。住み慣れた地域でいつまでも元気で楽しく暮らすことができるように取り組んでいます。



社協神島内支部

社協神島内支部は、986世帯、1,948人、高齢化率36.9%の地区です。(R7.5末) 古くから88か所霊場として賑わっていました。今回は社協支部のお楽しみイベント『バス旅行』と見守り活動の『友愛訪問』についてご紹介します。



支部長 井口和光さん
(圓明山法華寺 41代住職)

まちづくり協議会と一緒に福祉活動に取り組んでいます。子どもたちの意見も取り入れながら、全世代がより暮らしやすい地域になるように取り組んでいます。

年に1回のお楽しみ！バス旅行

年齢を重ねると外出がおっくうに感じられる人もいます。『いつまでも元気に』をモットーに、支部では『バス旅行』を企画しています。対象者は、65歳以上の一人暮らしの方。閉じこもらないように、またご近所同士のつながりができるように毎年実施しているイベントです。R6年度は役員含め22名が松永に行きました。場所は、役員の意見を聞きながら、支部長が下見に行き、安全を確認して決めています。(写真は、福山城博物館と松永はきもの資料館の様子)

友愛訪問

『友愛訪問』は、民生委員が対象としている高齢者世帯、65歳以上の独居の方を中心に年2回（12月・3月）120名の方の訪問をしています。毎年、民生委員と支部役員で年越しそば（昨年度はうどん）、ひな寿司などを配っています。何かあれば一人で抱えずにご相談ください。



©イラスト協議会

この広報紙は、共同募金の配分金の一部で作られています。
ホームページアドレス <http://kasaoka.or.jp/>
最新情報や福祉用具リサイクル情報の詳細はホームページをご覧ください。

Facebook・Instagramも
更新中です。
登録お願いします。



Facebook



Instagram